

3月のアルミレポートおよび4月の見通し(4)



橋本アルミ(株) 橋本健一郎

【アルミ圧延・押出品生産数】

+1.2% 4カ月連続プラス 16万6747t

板類 生産は4ヶ月連続でプラスとなったが、出荷は4ヶ月ぶりにマイナス

(1) 缶材 31,609t(▲3.9%): ビール系飲料の減少により、2ヶ月連続でマイナス。

(2) 自動車 12,764t(▲9.4%)

7ヶ月ぶりにマイナスとなったが、これは前年の数字が高かったことによるもので、需要自体は堅調に推移(1月の軽自動車を除く国内乗用車生産台数: 537千台、前年同月比: +4.9%)。

(3) 輸出 17,154t(3.7%) 2ヶ月連続でプラス。
押出類 生産・出荷ともに4ヶ月連続でプラス

① 建設: 36,240t(▲0.6%)

輸入品(サッシ以外の構造物)の増加傾向により(1月の通関実績: 13,606t、前年同月比: +46.3%)、4ヶ月ぶりにマイナス

(1月の新設住宅着工戸数: 76,491戸、前年同月比: +12.8%)。

② 自動車 12,035t(7.6%)

乗用車へのアルミ需要増やトラック架台の好調が継続し、4ヶ月連続でプラス。

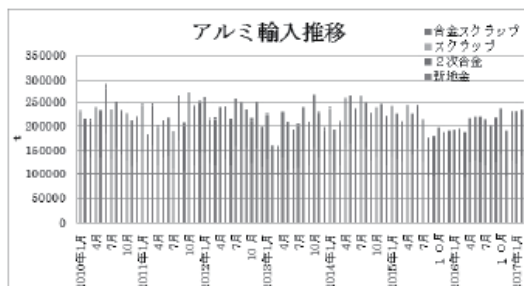
【輸出】

アルミ新地金が前年比 +50.5%の146t。二次合金が+19.9%の2333t。スクラップが-9.1%の8415t。アルミ缶が+54.2%の5755t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+27.1%の13万8831t。二次合金が+11%の9万5228t。スクラップが+6.9%の541t。合金スクラップが+30.5%の3517t。

種別	12月	1月	2月
新地金	12万9165t	12万1841t	13万8831t
前年比	+25.2%	+19.7%	+27.1%
二次合金	10万1468t	10万7732t	9万5228t
前年比	+16.1%	+18.5%	+11%
スクラップ	392t	604t	541t
前年比	-47.7%	-15.3%	+6.9%
合金スクラップ	2514t	3850t	3517t
前年比	-30.3%	-5.9%	+30.5%



出典 財務省 貿易統計

【見通し】

●自動車は生産が+11.2%。3月の国内販売台数が前年比+13.8%。生産が5カ月連続プラス、販売も6カ月連続プラス。生産、販売共に2ケタ増加しており今後の動向に注目。

●住宅着工の動向については、前年同月比で8ヶ月ぶりの減少となっており、今後の動向に注意が必要。

●アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績 生産出荷ともに1、2カ月連続プラス。

●輸出 期末要因のメーカーの買い控えを受けて全品種増加。

●輸入 自動車の好調をうけて全品種増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、いよいよ新年度入り!とりたいところだが期末の放出玉もせず相変わらずの品不足が続くのではないかと。

需要面に関しては 住宅 自動車など生産販売の好調に加え新年度入り 買いの号令も加わり需給は引きしまるのではないかと。

【価格・為替予想】

今月もトランプ米大統領の発言・政策と米中会談後に左右される。トランプ米大統領に関しては、先のおバマケアの代替法案が議会を通過したことから政権運営に不透明感が出てきている事は確か、今後大幅減税、金融規制緩和などの法案が通過するかどうかに注目。米中会談は、国境税問題 領土問題があるが、国境税問題などについてはお互い一定の理解を示すものの領土問題では両者譲らず平行線の議論になるのではないかと。

それらを踏まえた4月の銅価格は、トランプ米大統領の法案や人事が議会を問題なく通過し米中会談で新たな摩擦がおきなかった場合、(領土問題の未決は織り込み済み)。3月一段高の2100ドルを予測。いずれかの場合は1900ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合3月後半安値の1800ドル。

為替は前月に続き米トランプ大統領の上記政策の進展と為替への言及次第。

それらを踏まえ予測は

上記政策が進展した場合ドル高円安が進むのが為替への言及があれば大幅円高に振れる場合も場合あり高値は3月後半高値一段高の110円台(TTM)を予測。いずれも行われなかった場合同 安値の114円台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5~10円程度と予測している。